

《履修上の留意事項》面接授業のみ実施

《担当者名》○池森 康裕 高橋 久江（非）

【概 要】

利用者の尊厳と自立（律）に向けた生活支援の観点から、入浴・清潔・排泄の意義を理解し、安全で安楽な援助方法を学ぶ。

【学習目標】

- ・入浴（清潔）の意義を理解し、利用者の状況に応じた自立支援ができる。
- ・排泄の意義を理解し、利用者の状況に応じた自立支援ができる。
- ・福祉用具の正しい活用方法を理解し、利用者のプライバシーに配慮した援助ができる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション	この科目で学ぶこと - 科目の位置づけ アセスメント	池森
2	入浴・清潔保持の介護	入浴・清潔保持の意義と目的	池森
3	入浴・清潔保持における介護	入浴介助を行うにあたって	池森
4	自立に向けた入浴介助の実際	洗身介助と普通浴槽	池森
5	自立に向けた入浴介助の実際	洗身介助と機械浴	池森
6	自立に向けた入浴介助演習	洗身介助と普通浴槽	池森
7	自立に向けた入浴介助演習	洗身介助と機械浴	池森
8	部分浴の介助	部分浴の介助を行うにあたって （手浴・足浴・洗髪の介助）	池森
9	部分浴介助演	手浴・足浴・洗髪の介助演習	池森
10	部分浴の介助	足浴の介助について	池森
11	部分浴介助	足浴の介助演習	池森
12	部分浴の介助	洗髪の介助	池森
13	部分浴介助	洗髪介助演習	池森
14	事例演習A	右片麻痺者の入浴介護	池森
15	事例演習B	左片麻痺者の入浴介護	池森
16	排泄の意義と目的	自立生活を支える排泄介護とは	池森
17	排泄における介護技術	排泄介助を行うにあたって	池森
18	自立に向けた排泄介助の実際	自立度別介助の視点（トイレ・ポータブルトイレ介助）について	池森
19	自立に向けた排泄介助の実際	自立度別介助の視点（おむつの介助）について	池森
20	自立に向けた排泄介助の実際	自立度別介助の視点（尿器・差し込み便器）について	池森
21	失禁への対応	頻尿、尿失禁について学ぶ。	池森
22	失禁への対応	排便障害について学ぶ。 （便秘、下痢、便失禁）	池森
23	排泄に関するさまざまな介助	自己導尿カテーテル、浣腸について学ぶ。	高橋
24	排泄に関するさまざまな介助	ストーマ、パウチについて学ぶ。	高橋
25	事例演習A	右片麻痺者の排泄介護	池森
26	事例演習A	差し込み便器を使った排泄の介護	池森
27	事例演習B	左片麻痺者の排泄介護	池森

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
28	事例演習B	ポータブルトイレを使った排泄介護	池森
29	他職種の役割と協働	排泄ケアにおける他職種との協働について学ぶ。	池森
30	まとめ	清潔・排泄ケアのまとめ	池森

【評価方法】

定期試験45%、実技試験45%、レポート10%

【備考】

教科書：介護福祉士養成講座編集委員会編集：新・介護福祉士養成講座7 『生活支援技術』 中央法規 2019

参考書：介護福祉士養成講座編集委員会編集：最新・介護福祉士養成講座6 『生活支援技術』 中央法規 2019
介護福祉士養成講座編集委員会編集：最新・介護福祉士養成講座14 『こころとからだのしくみ』 中央法規 2019

その他：この科目は、介護福祉士国家試験受験資格取得のための「生活支援技術」に該当する。

【学習の準備】

演習では動きやすい服装と上靴を準備すること。スカートや土足では講義を受けられないので注意すること。
講義・演習で渡した資料はファイルに保管して、毎回持参すること。紛失しても再発行はしない。
演習を行う上では、次回の内容を事前にシラバスで確認し教科書を一読しておくこと。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2.1.3.4

【留意事項】

- 演習時は、学生同士のグループで進めていくので、遅刻・欠席は他の学生へ影響を及ぼしかねない。
- ・遅刻、早退、欠席は極力避けること。
 - ・15分以上の遅刻・早退は欠席扱いとする。
 - ・遅刻・早退3回で1回の欠席としてカウントするので注意すること。

【実務経験】

池森康裕（介護福祉士）、高橋久江（看護師）

【実務経験を活かした教育内容】

臨床および地域での医療・介護分野の専門職として、実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な教育を行う。